

平成29年度農業青年組織等活動活性化事業(地域青年農業者等グループ活動活性化助成)

事業主体名 川薩地区農業青年クラブ

1 目的

農業青年クラブ員は、普段の経営の過程で栽培技術のノウハウを蓄積している。しかし、販売チャネル確保に苦慮するクラブ員が多く、販売に関するノウハウを学び体験する機会も乏しいため、新たな顧客開拓・確保が重要な課題である。

そこで、地域イベントでの農産物直売を通じて、クラブ員自らが生産する農産物・加工品の販売企画および販売技術向上、農産物直販の新規顧客発掘、農業青年クラブ活動の魅力向上につなげる。

2 実施状況

※これまでの会員個々の農産物販売イベント参加経験から、29年度はターゲットを甕島に定めて取り組みを進めた。

(1) 甕島地域住民の農産物ニーズ把握と農業青年クラブPRの実施

ア. 農産物等ニーズの把握

- ・薩摩川内市役所を通じた事前聞き取り
- ・下甕生活研究グループとの意見交換
- ・下甕竜宮文化フェスタでの購入者向けアンケートの実施

イ. 農業青年クラブのPR

- ・10-11月 農業青年クラブPRチラシの作成
- ・11/26下甕竜宮文化フェスタでの農産物販売(販売品目:米, 野菜, 卵, 茶, 花苗など)
- ・11/26下甕竜宮文化フェスタでの農業青年クラブチラシ配付

(2) 農産物直販の新規顧客発掘の実施

- ・11/26甕島での交流・PRにより、クラブ員へ農産物注文が増え、新たな顧客開拓に繋がった。(自治会, コミュニティセンター向け花苗の注文など)
- ・2/16甕島地区生活研究グループと交流し、農業青年クラブPRと共に、今後それぞれの農産物を預かり販売するなどの取組について打合せを行った。



写真1. 消費者等と交流・直接販売
(11/26下甕竜宮文化フェスタ)



写真2. ニーズ把握および今後の取組打合せ
(2/16 山崎農園)

3 今後の課題, 取組み

(1) 課題

- ・甕島において需要の高い野菜(主に葉菜類)の供給体制

(2) 今後の取組み

- ・新たな販売地の開拓(上甕)
- ・若手農業者のクラブへの勧誘
- ・病虫害防除など安定生産技術獲得



写真3. ニーズ把握および今後の取組打合せ
(2/16 杉野園芸)



写真4. 甕島配付チラシ